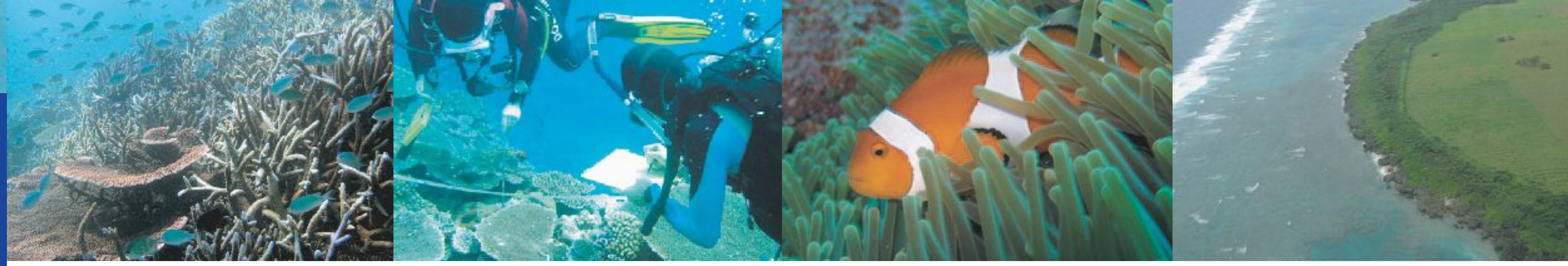
石西礁湖自然再生ニュースレター
2009.3 Vol.10

石西 自然再生 礁湖



▲枝状ミドリイシとオニヒトデ

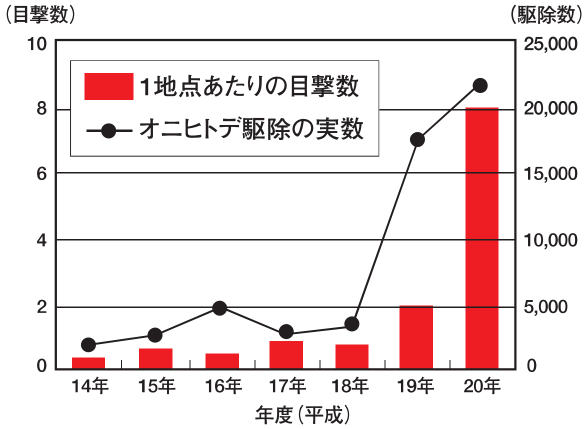
石西礁湖（せきせいしょうこ）はいま シリーズ⑩

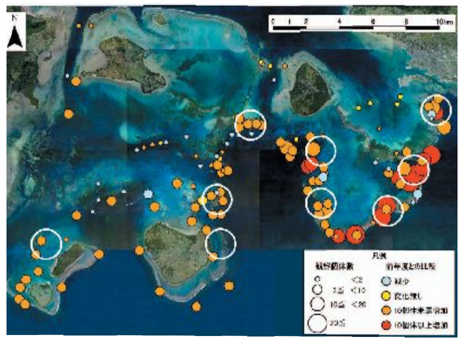
平成20年度のオニヒトデ発生状況

環境省の「広域モニタリング調査」によると、石西礁湖のオニヒトデ個体数は、大発生している傾向が確認された19年度の3倍程度に増加し、サンゴへの食害もさらに深刻なものとなっています。これまで様々なオニヒトデ対策が実施されてきましたが、大発生を収束に導いた前例は無く、餌不足や感染症等による自滅が主な収束の原因だと言われています。そのため、現在は、オニヒトデが減少するまで、保全海域のサンゴを保護することを目標として、限定した海域で重点的な駆除を継続する手法が支持されています。

環境省では、八重山地区オニヒトデ対策連絡会議において、地域の関係者と共に設定した保全海域と、西表石垣国立公園の海中公園地区で重点的な駆除を行っています。しかし、さらにオニヒトデが増加した場合、駆除努力をより集中させるため、駆除海域を絞るという選択に迫られる可能性もあります。

今後は、駆除に関わるダイビング業者、漁業者、行政機関等の連携体制をさらに強化するとともに、地域全体が共通認識の下で取り組んでいくことがより重要となってきます。





▲観察個体数の変化（平成19 年12 月→平成20 年8月）

▲平成20年度駆除の結果

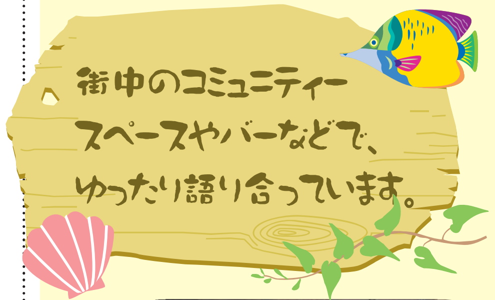
▲駆除作業

▲個体サイズ等の計測作業

八重山サンゴカフェーのご紹介

八重山サンゴ礁保全協議会では、国際サンゴ礁年2008 を契機に、国内で最も広いサンゴ礁域をもち、サンゴ礁が我々の生活と密接に関わっている八重山において、「八重山サンゴカフェー」を企画しました。毎回、様々な分野の話題提供者をお招きし、街中のコミュニティースペースやバーなど、話題提供者のリクエストに合わせた会場で、ゆったりとサンゴ礁について語り合う場となっています。

今後も、2〜3ヶ月に1 度のペースで継続的に開催する予定です。開催案内は協議会メーリングリストでもお知らせいたしますので、皆さんもお気軽にご参加下さい！



第5 回のテーマは「伝えること」。連続したイラストカードを1枚ずつ引いて、話し言葉だけでイラストの連続性を再現するという課題に取り組みました。

第4 回　Bar VENT

番外編　Bar かえる屋

第7 回　まちなか交流館ゆんたく家

第7 回／第1 部の「きっずさんごかふぇー」では、小学生が海で拾ったサンゴ片や貝殻、ガラスの欠片を使ってクリスマスリース作りに挑戦しました

これまでの内容

■第1 回「みんなが知らない!? サンゴの話」
佐藤崇範（環境省石垣自然保護官事務所）

■第2 回「サンゴの産卵の不思議」
林原毅（西海区水産研究所石垣支所）

■第3 回「八重山のサンゴ礁今昔よもやま話」
吉田稔（有限会社海游）

■第4 回「サンゴとIT 時代」
小林朋代（いであ株式会社）

■番外編「Kero×2 cafe!!」
勝部五葉（環境省石垣自然保護官事務所）

■第5 回「『1･2･サンゴ!』伝わってる?サンゴのこと」
大堀健司（エコツアーふくみみ）

■第6 回「サンゴ礁の魚たち−かれらのくらしをのぞいてみよう−」
渋野拓郎（西海区水産研究所石垣支所）

■第7 回「海からの贈り物『漂着物』」
大堀則子（エコツアーふくみみ）

■第8 回「みんなが知らない!? サンゴの話2009」
佐藤崇範（環境省石垣自然保護官事務所）

■第9 回『八重山のサンゴ礁モニタリング報告会2009』
吉田稔（有限会社海游）、宮本育昌（コーラルネットワーク）

→詳細は、八重山サンゴ礁保全協議会ブログ http://hozenkyo.cocolog-nifty.com/ をご覧下さい。

編集 発行
石西礁湖自然再生協議会運営事務局
環境省　那覇自然環境事務所　　内閣府　沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課
【住　所】〒907-0011　沖縄県石垣市八島町2−27　環境省石垣自然保護官事務所内
【電　話】0980-82-4768　【ＦＡＸ】0980-82-0279
【E-mail】okironc@coremoc.go.jp　【石西礁湖ポータルウェブサイト】http://sekiseisyouko.com

第10回

石西礁湖自然再生協議会を開催しました

石西礁湖の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻すため、自然再生推進法に基づく「石西礁湖自然再生協議会」を平成18年2月に設置し、様々な取組を進めています。

石西礁湖の自然再生を目指す「石西礁湖自然再生協議会」の第10回協議会を、平成21年1月30日(金)に石垣市で開催しました。

これまで4回にわたってグループディスカッションを行ってきましたが、陸域対策グループと普及啓発グループに関しては、行動計画作成のため、協議会とは別にワークショップも開催して議論を進めてきました。今回は、そのワークショップの他、生活・利用に関する検討部会で作成した普及啓発のためのパンフレット作成など、新たな活動についての報告がありました。さらに、サンゴ礁の専門家の立場から、東京海洋大学の岡本准教授より、研究成果を発表いただき、協議会委員全員で現在の石西礁湖の現状について認識を新たにすることができました。

また、協議会も10回目を迎え、今後の協議会のあり方、協議会委員の活動について今一度見直す必要があるのではないかという提言がありました。

グループディスカッション

会議の様子

石西礁湖自然再生事業の実施に向けて

第4回 グループディスカッション

「陸域対策グループ」及び「普及啓発グループ」は、自然再生を進めていく指針となる「行動計画」の作成に向けて議論を深めており、一方、「資金メカニズムグループ」では、資金運営の具体的な仕組みづくりについて検討しているところです。

陸域対策グループ（赤土・生活排水等の流入対策）

座長 大見謝 辰男
沖縄県八重山支庁
八重山福祉保健所生活環境班長

行動計画（案）の策定に向けた議論

○これまでのグループディスカッションやワークショップ等で出された意見を行動計画(案)としてまとめた。
○今日の議論においても、内容について議論した結果、もう少し修正が必要となった。
○もう少し議論を重ねて精査したものを次回の協議会で皆さんに諮り、承認を得たい。

普及啓発グループ（サンゴ礁保全の意識向上・広報啓発）

座長 灘岡 和夫
東京工業大学大学院情報理工学研究科教授

行動計画（案）の基本構造について

○基本構造については、行動計画のターゲットを明確にする必要がある。
○現在議論するうえで、観光と地域コミュニティというサブグループに分かれているが、これにこだわらず行動計画をまとめていくこととなった。
○石西礁湖の保全に興味がある一般の人に対しても、協議会の活動に参加していただけるような内容にしたい。
○陸域対策グループで打ち出した普及啓発に関連する部分については、普及啓発グループの計画を実行に移す際、積極的に協力していきたい。

資金メカニズムグループ（寄付金の募集と運用）

座長 惠 小百合
美ら島流域経営・赤土流出抑制システム研究会

基金事務局の選出について

○基金事務局については、候補を複数挙げて打診しているが、現段階では、良い返事がいただけていない。
○基金事務局の条件の一つである「八重山地方に活動拠点がある」という条件を外せば、もう少し対象が広がるのではないかという意見も出た。
○その他、寄付金の集め方についても、メンバーより情報提供があった。
○2月にワークショップを開催し、事務局のあり方、事務局の公募、広報、寄付金の集め方などについて意見をいただき、今年度中に方向性を示したい。

サンゴを守るためのルールを伝えます。

きれいなサンゴの海を見にきた観光客のみなさんに、「海で遊ぶとき」、「普段の生活の中」でサンゴを守るためのルールを伝えようと、協議会の生活・利用に関する検討部会が中心となって石西礁湖自然再生協議会、普及啓発ワーキンググループ、石垣島沿岸レジャー安全協議会で作成したリーフレット「石西しょうこちゃんの美しいサンゴの海を守りたいの巻」ができました。

今後、ダイビングショップ等で活用していきます。

interpretive design
Team mammal
環境教育デザイン
請け負います！

デザインは、協議会委員の大堀健司さんも加わっている「インタープリティブデザイン　チームまんまる」の皆さんが担当しました。

Sekisei Lagoon Gallery 石西礁湖ギャラリー

3月24日、石西礁湖自然再生協議会のメンバーである前田博さんが、ご子息と共に、約2年間の予定でヨット世界一周に出発されました。

協議会では、前田さんを応援するために、石西礁湖自然再生のマークが入ったフラッグを有志で作成して贈呈しました。

世界各地の港に寄港されるたびに掲揚していただき、石西礁湖のサンゴ礁保全についてPRをしていただきます。

前田さん親子の航海の安全と2年後の無事の帰航をお祈りしましょう。

※詳細はウェブサイトをご覧下さい
http://yaimaworld.web.fc2.com/home.html

ファイティングフラッグ贈呈

出航前の前田さん挨拶

いざ出航！